

平成 24 年 3 月 30 日

各 位

上 場 会 社 名	東 邦 瓦 斯 株 式 会 社
本 社 所 在 地	名古屋市熱田区桜田町 19 番 18 号
代 表 者	代表取締役社長 佐 伯 卓
コ ー ド 番 号	9 5 3 3
上 場 取 引 所	東京・大阪・名古屋 第 1 部
問 合 せ 先	企画部長 伊 藤 克 彦
	TEL 052 (872) 9313

平成 24 年度事業計画に関するお知らせ

平成 24 年度事業計画について、公表いたしましたのでお知らせいたします。
詳細については、別紙をご参照下さい。

以 上

平成 24 年度事業計画

1. はじめに

東日本大震災により大きな影響を受けた当地域の経済は、着実に回復しておりますが、欧州債務問題の影響、製造業の海外シフトの懸念、エネルギー価格の上昇など、先行きは不透明な状況にあります。エネルギー政策見直しの方向性も現時点では明らかになっておりませんが、供給安定性や環境性に優れた天然ガスに対する期待は高まるものと考えております。

こうした状況のなかで、当社は、ガス事業の基本である安定供給、安全・安心の確保を着実に実施するとともに、天然ガスの普及拡大と高効率・高度利用を推進し、環境調和型社会の実現に寄与してまいります。

24 年度事業計画は、以上の考え方を踏まえて策定しましたが、様々な状況変化が予想されるなかで、変化への迅速かつ適切な対応が重要と考えております。

2. ガス販売計画

(1) お客さま数

住宅着工件数の低迷など厳しい状況にありますが、供給エリアの拡大や都市ガスシェアの向上に努め、対前年 17 千件、0.8%増の 2,315 千件とする計画です。

(2) ガス販売量

ガス販売量は、お客さま数の増加に加え、業務用需要の着実な開発により、全体で対前年 41 百万 m^3 、1.0%増の 3,922 百万 m^3 とする計画です。なお、23 年度の気温影響等の補正後では 2.0%の増加となります。

内訳は、家庭用では 2.6%減の 726 百万 m^3 、業務用では 2.4%増の 2,902 百万 m^3 、卸供給では 2.6%減の 294 百万 m^3 です。

中期経営計画（計画年度：21～25 年度）の目標に対しては、お客さま数の増加ペースは下回っておりますが、ガス販売量は概ね計画どおりとなっております。

<表 1. お客さま数・ガス販売量>

(中期経営計画)

	単 位	23 年度 (実見)	24 年度 (計画)	対前年度 増 減	対前年度 伸び率	25 年度 (計画)	20～25 年度 平均伸び率
お 客 さ ま 数	千 件	2,298	2,315	17	0.8%	2,380	1.1%
家 庭 用	百万 m^3	[723] 745	726	-19	[0.3%] -2.6%	761	1.2%
業 務 用	百万 m^3	[2,818] 2,834	2,902	68	[3.0%] 2.4%	2,924	1.9%
卸 供 給	百万 m^3	302	294	-8	-2.6%	315	3.1%
ガス販売量計	百万 m^3	[3,843] 3,881	3,922	41	[2.0%] 1.0%	4,000	1.8%

注：[]は気温影響等補正後の数字

(3) 用途別販売計画

家庭用では、家庭用燃料電池「エネファーム」の販売を強化するとともに、太陽光と組み合わせたダブル発電システムの提案を推進します。高度化する都市ガス利用システムの提案力を高めるため、4 月から販売サポート体制を拡充します。また、Si センサーコンロ、省エネ型給湯器「エコジョーズ」、ガス温水床暖房などの普及に注力するとともに、より多くのお客さまにガス機器の先進性やガスの良さをご理解いただくため、ショールーム「リベナス」や各地での体感イベントを幅広く開催します。

業務用では、天然ガスへの期待が高まるなかで、工業炉・ボイラなど熱需要を中心に新規開発を進めるとともに、供給エリア周辺の開発にも導管延伸などにより積極的に取り組みます。超高効率GHP「エクゼア」、ガスコージェネレーション、業務用厨房（涼厨）に加えて、停電時でも運転可能なGHP「エクセルプラス」の販売を開始するなど、都市ガスによる電力ピークカットへの貢献、省エネ・セキュリティ向上に向けた提案を推進します。また、エネルギー供給だけでなく、ガス設備や周辺設備の建設から運転・維持管理までをワンストップでご提供する「総合ユーティリティサービス事業」を幅広く展開します。

(4) LPG事業

お客さま数は対前年 0.5%増の 327 千件、LPG販売量は対前年 1.5%増の 410 千 t とする計画です。都市ガスとLPGの連携により、需要開発を強化するとともに保安・サービスの向上に取り組みます。

3. LNG使用計画

LNG使用量は、前年並みの 3,011 千 t を計画しております。

LNG調達は、平成 20 年代後半まで長期契約を中心に必要量を確保しております。29 年には豪州イクシスLNGプロジェクトからの購入を開始いたします。今後とも、調達先の拡大や契約形態の多様化などにより、一層の安定調達を図ります。

<表 2. LNG使用量>

	単 位	23 年度 (実見)	24 年度 (計画)	対前年度 増減	対前年度 伸び率
LNG使用量	千 t	3,010	3,011	1	0.0%

(中期経営計画)

25 年度 (計画)	20～25 年度 平均伸び率
3,186	2.0%

4. 設備投資計画

設備投資額は 308 億円を計画し、安定供給や保安対策、需要の増加に応じた設備形成を進めます。

内訳は、製造設備では知多緑浜工場の No. 3 LNGタンクなど 57 億円、供給設備では伊勢湾横断パイプラインなど基幹幹線の整備や経年ガス導管対策など 217 億円、その他業務設備は 34 億円です。

知多緑浜工場 No. 3 LNGタンク（地下式 22 万 kℓ）は、28 年度完成に向けて 24 年度に着工します。伊勢湾横断パイプラインの建設は順調に進捗しており、25 年度に運用開始する計画です。防災対策は、従来から進めている対策（今後 5 年間で約 300 億円）に津波・液状化対策等（同 約 75 億円）を追加し、合計で 375 億円（うち 24 年度は 61 億円）を計画しています。

防災対策などを追加する一方で、建設時期の見直しやコストダウンにより、中期経営計画並みの水準としています。今後も更なる効率化に努めてまいります。

<表 3. 設備投資計画>

(単位：億円)

	内 容	23 年度 (実見)	24 年度 (計画)
製 造 設 備	製造設備	6	57
供 給 設 備	本支管		
	幹 線	34	21
	一般導管	178	166
	計	212	187
	供給管・メーター	12	12
	その他設備	19	18
	供給設備合計	243	217
そ の 他		36	34
合 計		285	308

(中期経営計画)

5 年間計 21～25 年度
330
1,080
170
1,580

5. 保安・サービス

安定供給、安全・安心はガス事業の基本であり、保安・防災対策を着実に実施します。

保安対策では、家庭用においては安全型ガス機器への取替促進、業務用においては厨房施設の換気対策などに取り組むとともに、生産・供給設備の経年対策も計画的に進めます。

防災対策では、ガス導管の耐震性向上や供給ブロックの細分化などを、計画的に進めます。また、東日本大震災における知見を踏まえ、津波・液状化対策、長期停電対策、資機材等の備蓄強化などの追加対策を26年度までに概ね完了させます。併せて、事業継続計画（BCP）の見直し、グループ会社や協力会社とも連携した復旧体制の整備、防災訓練の強化など、ソフト面の対策も拡充します。

サービス面では、25年1月に稼働予定の「お客さま情報システム（新CIS）」を活用してお客さまのニーズへ迅速に対応するとともに、休日の機器修理体制を拡充するなど、一層のCS（お客さま満足度）の向上に努めます。

6. 技術開発

天然ガスの高効率・高度利用に向けて、家庭用では、ガス機器に対応したHEMS^[*]の開発や集合住宅でのエネルギー融通の実証試験などに取り組み、スマートエネルギー社会に対応した開発を加速するとともに、固体酸化物形燃料電池（SOFC）の評価を進めます。業務用では、業務用SOFCの開発、GHPや工業炉バーナー・ボイラの更なる高効率化を推進します。

燃料電池自動車の普及に向けて、新たに豊田市で水素ステーションの実証プラントを建設し、大容量化や急速充填などの技術開発にも取り組みます。

[*]Home Energy Management System の略。家庭にあるエネルギー使用機器の運転状態などを表示するとともに、各機器を自動制御して省エネルギーや節電などを図るシステム。

7. 地域社会における環境活動

地域との連携を深めるとともに、当社グループ全体での環境活動を拡充します。

次世代へのエネルギー・環境教育では、体験・体感型の学習イベント、小中学校への出前授業、環境にやさしい食生活を提案するエコクッキング活動などを充実させます。

地域と連携した活動では、6月の「ECOアクション月間」を中心に、東邦ガス「環境写真展」の開催、東山植物園「花いっぱいプロジェクト」への協賛、全社クリーン活動などを実施します。

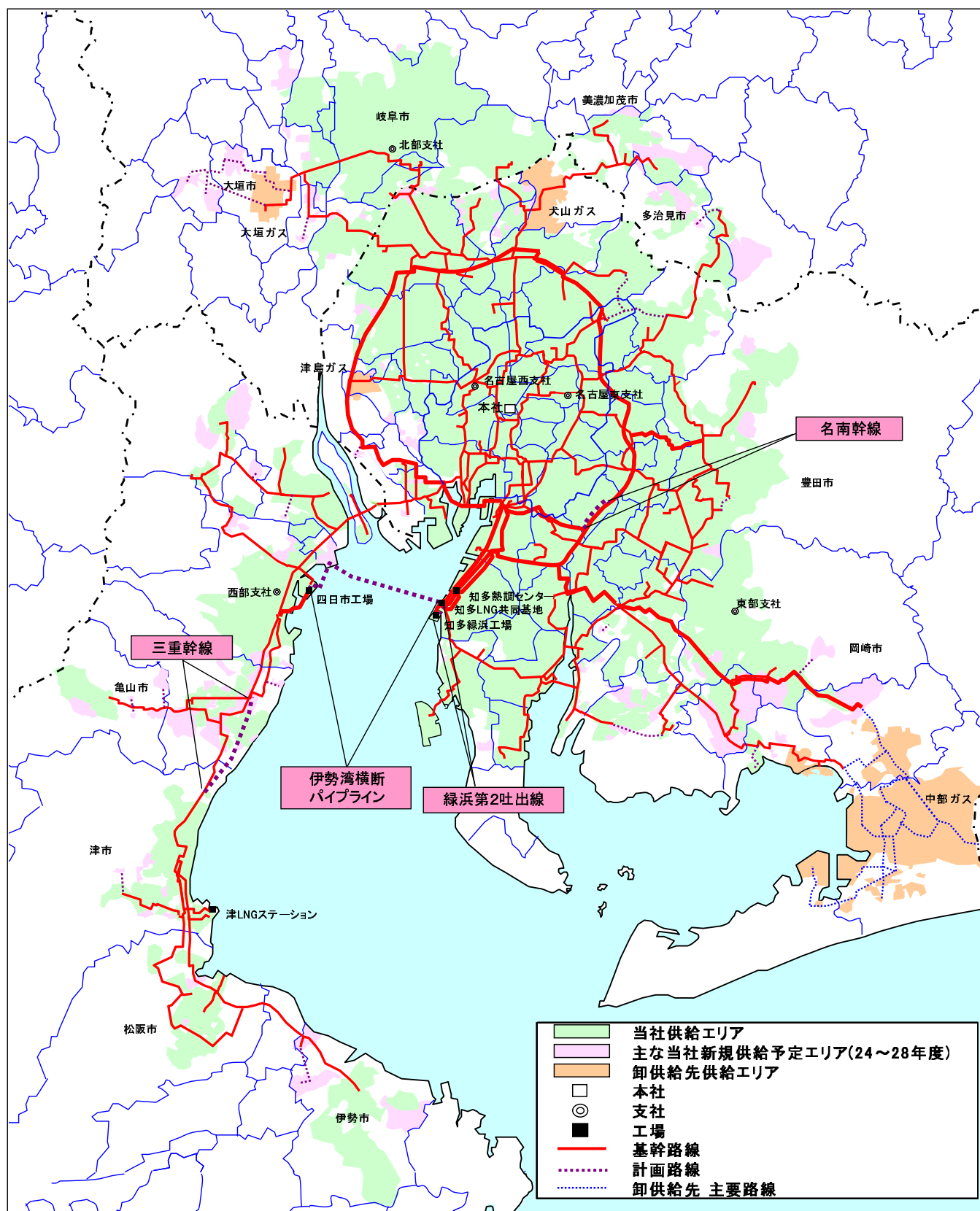
24年度は、当社創立90周年を迎えます。

お客さまや地域社会のみなさまには、これまでの長年のご愛顧に感謝を申し上げます。

当社は、今後とも、地域社会とともに持続的に発展し、環境調和型社会の実現に寄与するとともに、みなさまに支持され続ける会社を目指してまいります。

以 上

供給エリア図



【主な基幹路線計画】

路線名	延長	工期
名南幹線 (新大府～豊明間)	5.3km	22～26年度
伊勢湾横断パイプライン	19.5km	20～25年度
緑浜第2吐出線	0.8km	25～26年度
三重幹線 (鈴鹿～津間)	15.0km	25～27年度